

船上城から明石城へ



「船上城から明石城へ」をテーマとして、明石地域の中世から近世にかけての城郭から発掘された出土品を取り上げます。特に、近年船上城下跡や明石城下町跡の発掘調査が盛んに進められ、そこから出土した瓦や陶磁器類から、当時の城を取り巻く城下町の姿が徐々に明らかになってきました。

最新の調査成果も含め、明石地域で展開した城の歴史を紹介します。

◆ 本展のみどころ

1. 魚住城など明石地域の中世城郭を紹介

明石市内の海岸沿いには、大蔵谷や和坂、魚住に中世の城がありました。また、明石川やその支流沿いの神戸市には^{はしたに}端谷城や^{しきつ}枝吉城などの城がありました。こうした城跡の発掘調査で見つかった遺構や遺物から、城の縄張りやその歴史的推移を紐解きます。特に端谷城跡から出土した甲はこの時期の武士の装いを知る上で貴重です。

2. 船上城跡の調査成果が一堂に

天正 13 年（1585）に明石に転封してきた高山右近によって築かれた船上城は、近年の発掘調査の成果により、大きな堀をめぐらせた城であったことがわかってきました。当時の鬼瓦や軒丸・軒平瓦、陶磁器類などから港を背景に栄えた城下町の姿を紹介します。

3. 明石城の特徴を絵図や出土物から明らかに

明石城内および、城下町の武家屋敷跡や外堀、町屋跡の発掘調査から、残された絵図との対比を通して、その構造や当時の武家、町人のくらしぶりを明らかにします。明石城の本丸にあった御殿の屋根を飾っていたとみられる鯰瓦は一見の価値があります。

◆ 展覧会概要

- 1 名 称 企画展 発掘された明石の歴史展
「船上城から明石城へ」
- 2 会 期 2025 年（令和 7 年）11 月 13 日（土）～2026 年（令和 8 年）
1 月 12 日（月・祝）
※月曜休館（11 月 24 日、1 月 12 日を除く）
※11 月 16 日（日）、12 月 7 日（日）は無料開館
- 3 開館時間 9 時 30 分～17 時 30 分（入館は 17 時まで）
- 4 会 場 明石市立文化博物館 特別展示室（1 階）
明石市上ノ丸 2 丁目 13 番 1 号 電話：078-918-5400
【交通案内】JR・山陽電鉄「明石」駅より北へ徒歩 5 分
- 5 主 催 者 明石市、明石市立文化博物館
- 6 観 覧 料 大人 200 円、大高生 150 円、中学生以下無料
※20 名以上の団体は 2 割引。
※65 歳以上の方は半額。身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・ミライロ ID 手帳提示の方と介護者 1 名は半額。
※シニアいきいきパスポート提示で無料。

7 主な展示資料

1. 中世城郭

- 1) 福中城 土師器鍋・備前焼壺
- 2) 脇村構居 青磁碗・備前焼播鉢
- 3) 福谷城 土師器小皿・焼けた壁土
- 4) 端谷城 宝袋文鬼板・鬼瓦・天目茶碗・備前焼小壺・甲
- 5) 枝吉城 土師器・陶磁器・瓦
- 6) 蟹坂構居 唐津焼皿・景德鎮窯磁器皿
- 7) 大蔵谷構居 土師器鍋・備前焼播鉢・瓦
- 8) 魚住城 土師器鍋・備前焼甕・瓦・五輪塔地輪部
- 9) 西岡構居 瓦・青磁・土師器
- 10) 船上城 土師器・陶器・瓦

2. 近世城郭

- 1) 明石城 鯨瓦・鬼瓦・陶磁器、絵図
- 2) 明石城下町 土器・陶磁器・瓦、絵図

3. 近代

舞子砲台

8 関連事業 ※観覧券が必要です。

① 講演会・シンポジウム【要申込み】

日 時 令和7年12月13日（土）13：00～16：00

定 員 80名

基調講演「赤色立体図からみた明石の城」

永恵 裕和氏（兵庫県立考古博物館）

講 演「文献からみた明石の城郭の立地」

高橋 明裕氏（立命館大学非常勤講師）

講 演「明石城以前の上ノ丸台地」

春成 秀爾氏（国立歴史民俗博物館名誉教授）

シンポジウム 永恵 裕和氏、高橋 明裕氏、春成 秀爾氏

コーディネーター丸山潔氏（明石市文化財保護審議会委員）

場 所 当館2階大会議室

② 講演会「明石藩の絵画について」【要申込み】

日 時 令和8年1月10日（日）13：00～15：00

定 員 80名

報 告「船上城の発掘調査成果から」

稲原 昭嘉（明石市歴史文化財担当）

講 演「CG再現で考える明石城の構造」

本岡 勇一氏（城郭研究家）

場 所 当館2階大会議室

*各イベントでは、手話通訳者の派遣が可能です。希望の方は【手話通訳希望】【要約筆記希望】にチェックを入れてください。（直前の申込みの場合は、対応できないことがあります。）

【申込方法】

- ① 11月2日（日）午前10時～12月12日（金）までに当館ホームページの申込フォームから先着順で受付します。ホームページから申込みができない場合は電話でお問合せください。
- ② 11月2日（日）午前10時～1月9日（金）までに当館ホームページの申込フォームから先着順で受付します。ホームページから申込みができない場合は電話でお問合せください。

1グループにつき4名様までの申込とさせていただきます。5名以上のお申込をご希望の方は、代表者名を変えて、分けて申込みいただくようお願いいたします。

申込み後にキャンセルや人数が減る場合は、電話またはメールにてご連絡ください。

定員に達した場合はエラーページが表示されます。（キャンセルが出た場合は、再度、入力ページが表示されるようになります。）

■■お問合せ先■■

明石市立文化博物館

〒673-0846 兵庫県明石市上ノ丸2丁目13番1号

TEL:078-918-3051 FAX:078-918-5409 展示担当学芸員:稲原、原口

TEL:078-918-5400 FAX:078-918-5409 広報担当:山口、武井

◆ 広報用画像

企画展 発掘された明石の歴史展「船上城から明石城へ」の画像データをプレス掲載用にご用意しております。使用を希望される際は本書面最終頁の別紙、申込用紙にご記入のうえ FAX またはメールで返送をお願いいたします。



1. 「明石御料地其一」明石名所写真帖（宮内庁書陵部蔵）



2. 甲小札（端谷城跡、神戸市提供）

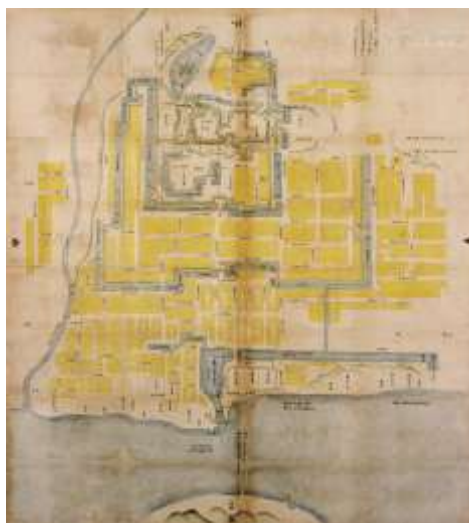


3. 明石城跡 鯨瓦



4. 織部焼など陶磁器類（船上城下）

明石市立文化博物館 宛



5. 播磨国明石城絵図

明石市立文化博物館 画像借用申込用紙

企画展

「発掘された明石の歴史展 船上城から明石城へ」

FAX 送付先(078)918-5409

ご希望の画像番号に○をつけてご返送をお願いいたします。本展をご掲載いただける場合、読者・視聴者プレゼント用招待券(最大10組20名様まで)もご用意しておりますので、ご連絡ください。

番号	必要キャプション及びクレジット
1	「明石御料地其一」明石名所写真帖（宮内庁書陵部蔵）
2	甲小札（端谷城跡、神戸市提供）
3	明石城跡 鯰瓦
4	織部焼など陶磁器類（船上城下）
5	播磨国明石城絵図

貴社名			
媒体名	（新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・その他）		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号	TEL	FAX	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日			
写真到着希望日			
招待券希望枚数	組	名分希望	

- ・データの使用は、本展の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。使用後は速やかにデータの消去をお願いします。
- ・広報用画像にはクレジットを必ず記載してください。複数枚ある場合には、記事内の一カ所、作品全体にかかるように記載してください。
- ・原稿の確認にはお時間を頂戴しますので、ご了承ください。
- ・本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(DVD など)をお送りください。
- ・本展会場の取材、撮影をご希望の場合には、事前にご連絡ください。